

DECISION

Protest

Request No.: 11

Heard Jointly With Number(s): 06, 14

Event: 2021近畿北陸学生ヨット選手権大会団体戦PC Race Number: 4
Hearing Schedule: 2021-10-09 22:30

PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 11: 470 - JPN 4690 - 11京都産業大学 - 青山 竜也
470 - JPN 4472 - 21金沢大学 - 池田 悠人
Request No.: 14: 470 - JPN 4690 - 11京都産業大学 - 青山 竜也
470 - JPN 4472 - 21金沢大学
Request No.: 06: 470 - JPN 4690 - 11京都産業大学
470 - JPN 4472 - 21金沢大学

VALIDITY

Objection to Jury: No 付則JAに関する異議もなし
Within Time Limit: Within Time Limit 提出時刻17:38、締切時刻17:39
Incident Identified: Yes
Proper Hail: Protest hailed
Red Flag Displayed: Not required
Decision: Request Valid

PROCEDURAL MATTERS

- 審問要求14は、審問要求11の訂正を意図して、抗議締切時刻に遅れて提出された。締切時刻を延長するもっともな理由はなかったため、審問要求14は無効と判定した。
- 審問要求11は、審問要求06の訂正を意図して、抗議締切時刻までに提出された。
- 審問要求11の抗議は有効であるため、審問を続行した。
- 審問要求9の抗議と本件の抗議は、同じまたは密接に関連した複数のインシデントから生じていたため、RRS63.2に基づき、同時に審問した。
- 審問中に、RRS61.2に従って、審問要求書のレース番号の記載を第6レースと修正することを認めた。

FACTS FOUND

- 470級、第6レース、1回目のビートの上マーク付近、風速は6-10ノットであった。
- 三艇いずれもクロスホールドであった。スターボードタックの11号艇は、上マークから約10艇身の距離でレイライン付近を帆走していた。ポートタックの21号艇は、11号艇とコリジョンコースにあった。08号艇はポートタックで、11号艇に対して約2艇身風上で風位に対してほぼ同じ高さにいた。
- 三艇いずれもコースを維持し、11号艇と21号艇との距離が約1艇身となったとき、21号艇はラフィングを開始した（位置2）。
- その直後に11号艇はラフィングを開始した。11号艇のポート側のサイドステーと、21号艇のスターボード側のガンネルとが接触した（位置3）。
- その後、風位を超えた21号艇は、ベアアウェイしてクロスホールドのコースとなる前に、ラフィングをした。その時すでにラフィングを開始していた08号艇と接触した（位置4）。
- いずれの艇にも、損傷も傷害もなかった。
- いずれの艇もペナルティを履行していない。

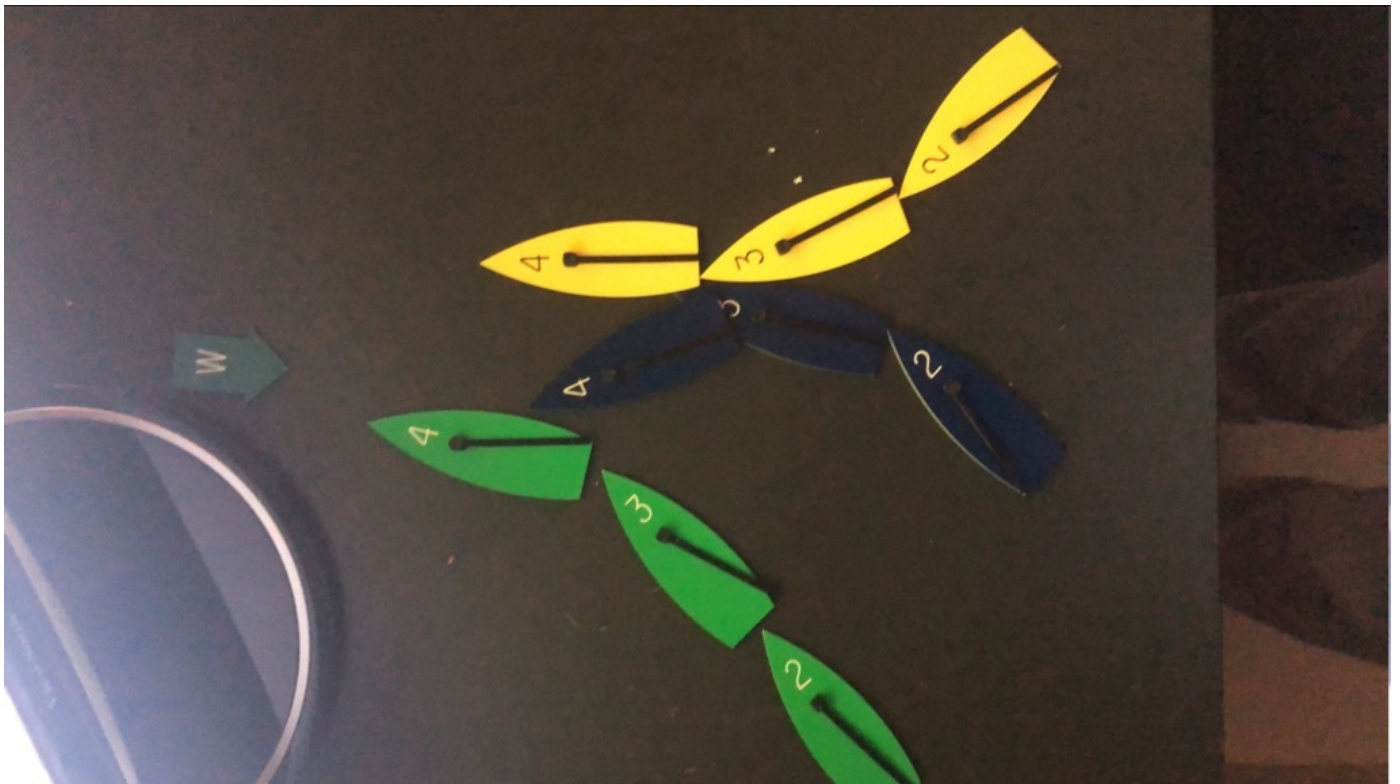


image.png 2.7 MB

Diagram: Protest Committee diagram attached

CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: RRS11, 13, 14

- ポートタック艇21は、スターボード艇11を避けていなかったため規則10に違反した。
- 11号艇は、21号艇が自艇を避けていないことが明らかになった時点で接触を回避する行動を取った。21号艇との接触を回避することは常識的に不可能であったので、11号艇は規則14に違反していない。
- 風位を超えたあと、クローズホールドのコースになるまで、艇21は風位を超えていなかった8号艇を避けていなかったため規則13に違反した。
- 08号艇は、21号艇が自艇を避けていないことが明らかになった時点で接触を回避する行動を取った。21号艇との接触を回避することは常識的に不可能であったので、08号艇は規則14に違反していない。
- 21号艇は、規則14にもまた違反した。

DECISION

21号艇を第6レースにおいて失格とする。

Date & Time: 2021-10-10 00:30 JST

PROTEST COMMITTEE

Chaired By: Kai Masuda (JPN)

Committee Members: Masayuki Ishikawa (JPN), Ayako Shima (JPN), Hikaru Tagaya (JPN), Marie Higashida (JPN)

Printed: 10 Oct 08:57